



## 東地中海地域ニュース

### トルコ：ソマリア海賊対策を目的としたトルコ海軍艦艇の派遣 (2月6日付現地報道)

1. 5日、ソマリア海賊対策を目的としたトルコ海軍艦艇派遣を求める閣議決定が国会に提出された。トルコは、アデン湾における（海賊対策を目的とした）国際海上部隊の活動を支援するため、海軍艦艇を1年間アデンに派遣する。最初に派遣されるのは、フリゲート「ギレスン」である。
2. 同閣議決定によるトルコ海軍部門の任務は、以下のとおり。
  - ・ 容疑船に対し、国際法に基づき臨検等を実施する。
  - ・ 商戦の護衛を行うとともに、海賊からの攻撃に対する支援を行う。
  - ・ 海賊を拘束する権限を有し、海賊の拘束に際し、要すれば武力を行使する。(ソマリア本土における地上作戦の権限は付与されない)
3. 乗員250名が乗り込む「ギレスン」は、全ての準備を完了し、現在（地中海沿岸）アクザス・トルコ海軍基地にて、出港を持っている。「ギレスン」は、艦載ヘリを搭載するとともに、海軍特殊部隊が乗船する。
4. 6日、トルコ参謀本部報道官は、定例記者会見で、現在トルコ海軍は、ソマリア海賊対策のために、アデン湾へのフリゲート艦の派遣を準備中であると述べた。

#### <参考>

「ギレスン」は、アデン湾において米軍主導のCTF-151の指揮下で任務を行うものと見られる。なお昨年10月から12月の間、フリゲート「ギョコバ」が、NATO SNMG2としてソマリア周辺海域に派遣された。今回のミッションはそれに次ぐものである。